

平本議員（広志会）

令和元年 9 月 20 日
知事答弁実録
(教育委員会)

(問) 学校における ICT 環境の整備について

本県の学校における ICT 環境の整備について、全国的に極めて遅れていると言わざるを得ないが、こうした状況について、また、一般の学校の環境整備よりも叡智学園の整備が優先されていることについて、どのように認識しているのか、知事の所見を伺う。

また、県内の次世代を担う全ての子供達が恩恵を受ける ICT 環境の積極的な整備について、是非とも知事に決断をしてもらいたいと考えるが、併せて知事の所見を伺う。

(答)

本県におきましては、全ての児童生徒の「学び続ける力」を育成する「学びの変革」を推進しているところであり、これを先導する広島叡智学園中学校・高等学校をはじめ、個々の生徒の事情に応じた柔軟な学びを提供する広島みらい創生高等学校等を整備したところでございます。

これらの学校は、その成果を県内の国立や私立の学校も含めて還元することにより、県全体の教育水準の向上に繋げる重要な役割を担っております。

また、他の県立学校においても、「学びの変革」を一層推進するために、ICT を有効に活用することにより、これまで以上に児童生徒一人一人に寄り添った個別最適な学びを進めていく必要があると考えております。

現在、教育委員会において、これから到来するソサエティ 5.0 時代を見据え、これからの学びにおける ICT の活用方法や教員の指導力向上、その整備内容や導入スケジュールなどについて議論しており、私といたしましては、その方向性を踏まえ検討してまいりたいと考えております。